



せっぺ 翔べ



日吉学園HP ★新日吉学園ブログ

ふるさとの良さ

日吉学園 校長 松尾 明

毎月の第一日曜日に、「赤いえんとつイチの日」というイベントが行われています。これは、「赤いえんとつイチの日」実行委員会、NPO 法人鹿児島夢未来が中心となった、手作り品の即売会、屋内ステージによる演奏会、講演会等があるイベントです。この場所は、「赤いえんとつの家」と呼ばれ、日置市への移住を考えている人が、お試しで住むことができる「お試し住宅カメハウス」にもなっています。

その場所で昨年11月に、日吉中出身で、現在、東京を中心に、YumeNovaというユニットでシンガーソングライターとして活躍しているRisaさんの演奏を聴きました。その中で、Risaさんが、ふるさと日吉町のことを想って作った「日々吉々」という歌がありました。以下に歌詞の一部を紹介します。

僕が生まれたまちは 何にもなくて
電車のひとつも 通ってないのです。

僕が生まれたまちは 雨の日はカエルが
田んぼの周りで はしゃいでいます。

映画館もデパートもそこには何もなくて
晴れの日にはどこよりも
綺麗な夕日がまちを 包んで

駆け上がった坂道の 先に広がった
緑の景色と 遊ぶ虫の笑い声
何もなかったら 透明な青空
耳を澄ましたら 聞こえてきた
大切なものがそこにあった

※ 「YumeNova」で検索したら YouTube で視聴
できます。

この後に2番の歌詞が続きますが、その最後に、

・・・大切なこのまちと 家族の笑顔を
いつもいつまでも 抱きしめ続けてゆくよ
何年何十年も 豊かな未来へ
きっとここから始まるんだ
命を紡いで 日々吉々

という歌詞があります。

きっと、ふるさとを遠く離れて活動しているRisaさんにとって、ふるさとにあったものが実は宝物（原点）だった、ということ、そして、その宝物を未来へ繋げていきたい！そんな想いが込められている素晴らしい歌でした。

(ひるがえって) 自分事になりますが、私自身も、自分が育ったふるさと(神奈川県茅ヶ崎市)を後にして今があります。時々、日吉町の文化・歴史・自然の良さに触れる中で「私のふるさとの宝は何だろう？」と自問自答することがあります。残念なことに、はっきりとした答えを見付けられないのです。(それは、「湘南の海」でも「サザンオールスターズ」でもない。)

これは、私が小・中学校時代に、ふるさとの文化や歴史について学んだり体験したりする機会が少なかったことが原因なのではないかと思っています。お蔭で、私の中で、アイデンティティーの一部が欠けているような感覚がずっと残っています。

そこで、日吉学園の子供たちはどうでしょうか。日吉町には歴史・文化・自然など、誇れる物がたくさんあります。学校でもその良さについてもっと学ぶ機会があればよいのでは、と思うようになりました。

現在、来年度における教育の計画作成の終盤を迎えています。来年度は、将来に子供たちが、どこに行っても日吉町のことを誇れるように、地域の良さに触れる機会をさらに充実させていきたいです。

新しい環境に希望をもって

2月2日(金)に、令和6年度の新1年生保護者を対象に、入学説明会を開催しました。来年度の入学予定者数は18名(R6・2・22現在)です。新年度の準備や学校生活のきまりなどについて説明しました。また、前日の2月1日(木)は、後期課程進級説明会が行われ、6年生は、前期課程との学校生活の違いについて学習しました。説明会の後は、「部活動見学」も実施され、先輩たちの活動の様子を楽しそうに見学していました。

9年生は、入試も始まっており、学習への緊張感も一層、高まっています。また、その他の学年においても、まとめや次の学年への進級に備えた学習に取り組んでいます。

子供たちが4月に迎える新しい環境に希望と期待をもって進んでいけるよう、1日1日を大切にしながら、励ましていきたいです。



1年生:生活科「昔の遊び」体験

2月10日(土)に、1年生が「八幡地区高齢者クラブ」の皆様をお招きして、「昔の遊び」を体験しました。だるま落としや羽根つき、けん玉など、昔の遊びのやり方を教わりながら、楽しく遊ぶことができました。

特に、お手玉やおはじき遊びなどは経験したことのない子どもも多く、大変興味をもち、もっと挑戦してみたいという気持ちも高まっているようでした。また、教えていただいたお礼に、手作りにプレゼントを贈るなど、高齢者クラブの方々との触れ合いも楽しむことができました。

御協力いただきました皆様、ありがとうございました。



✿入賞おめでとうございます✿

第71回 南九州美術展

【書道の部】

<特選>4年 上門 結愛 5年 室屋 柚依 6年 鮫島 未羽
<入選>1年 片野坂 帆香 2年 溜 心桜 3年 加古 絢
6年 田島 美波海

【描画の部】

<南九州美術展賞>2年 吉村 奏海 <日置市長賞>3年 馬場 あかり
<特選>2年 古里 遙来 3年 正留 花歩
<入選>2年 大樂 結仁・東郷 瑛斗 3年 黒木 蒼太
4年 小松 翔愛

【ひおきの部】

<入選>1年 木村 友侑 5年 室屋 柚依 6年 鮫島 未羽



主な行事予定

1	金	【前】お別れ遠足
7	木	【後】日吉カップ
12	火	第3回卒業式
25	月	修了式・離任式



「第64回中学卒業生壮行激励会」 明信寺のみなさんありがとうございました。

明信寺主催の「中学卒業生壮行激励会」が2月15日(木)に明信寺で行われました。入試や卒業を間近に控えた9年生(中学3年生)に毎年激励会を催して下さっていますが、今年で第64回を数えるとのこと。仏教婦人会の方作って下さったちらし寿司やお吸い物、サラダ、果物を美味しくいただきました。本堂では、仙台大学体育学部子ども運動教育学科で教鞭をとっていらっしゃる、賞雅さやか先生より、ウェル・ビーイング(身体的、精神的、社会的に幸せである状態)はどのような状態か、について講話をいただき、自分自身の幸せについて考えました。

9年の生徒たちは、「お腹」も「心」も満たされました。いよいよ来月に公立高校受験に挑み、そして、日吉学園を巣立っていきます。

明信寺の関係者の皆様、多大なる力を頂きました。本当に有難うございました。



能登半島地震災害義援金義援金

令和6年(2024年)1月1日に発生した能登半島地震により亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

そこで、日吉学園生徒会が中心となり、児童生徒・保護者・職員から被災された方々への義援金を募りました。

日吉学園全体で、総額45,291円の義援金が集まり、南日本新聞(2月20日記載)を通して被災された方々へ送ることができました。ご協力本当にありがとうございました。

未来を生きる子供たちのために ～大谷グローブ～

「野球しようぜ!」のメッセージとともに、本校にも「大谷グローブ」が届きました。ご存知のとおり、全国の小学校に贈られるとのこと、本校の子供たちも、その到着をととても楽しみに、心待ちにしていました。そして、到着したその日は、子供たちも大興奮でした。

大谷選手の意向を十分に踏まえ、できるだけみんなが使えるように、学年ごとに1週間交代で使っています。

今後も、多くの子供たちがこのグローブに親しみ、野球を楽しむことはもちろんのこと、目標をもち、それを実現させるために努力し続けている大谷選手の姿を身近に感じながら、子供たちが自分の夢に向かって進むための原動力になってくれることと期待しています。

